

第 293 回
岩手朝日テレビ放送番組審議会
議 事 錄
(2025 年 11 月)

2025.11.26

株式会社 岩手朝日テレビ

第 293 回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 2025 年 11 月 26 日 (水) 午前 11 時～

2. 開催場所 岩手朝日テレビ 本社 大会議室

3. 委員の出席

委員総数 8 名

出席委員数 7 名 (* : レポート参加)

委員長	小松 豊
副委員長	そのだ つくし
委員員	石川 健正
委員員	高橋 惣兵衛
委員員	松澤 一美 *
委員員	小川 智
委員員	内海 亮

欠席委員数 1 名

委員 佐竹 雅之

会社側出席者名

代表取締役社長	畠山 大
常務取締役	三浦 茂樹
メディアビジネス	
推進本部本部長	
取締役	岩淵 美彦
放送番組審議会事務局長	
報道制作部	四戸 俊行
担当部長	
プロデューサー	
番組審議会事務局	鈴木 敦

4. 議 題

(1) あいさつ

(2) 12月単発番組・10月視聴率・10月視聴者応答記録

(3) 合評課題について

「天津木村のG o ! G o ! G o l f」

*2025年10月18日（土）・25日（土）

午前6時30分～7時にて放送

(4) 次回開催について

日 時：2026年1月28日（水）午前11時～

場 所：岩手朝日テレビ 本社 大会議室

合評課題：未定

*12月は休会といたします

(5) その他

5. 概 要

県内のゴルフ場を舞台に天津木村さんがゴルフを愛する地元経営者たちと対決。真剣勝負あり、爆笑珍プレーありのラウンドを通じてゲストの仕事やプライベートにも迫る、岩手初のトーク＆ゴルフバラエティ番組。

合評の意見

- ・進行役の天津木村さんと石田アナの掛け合いも楽しく、地元経営者をゲストに迎え、アットホームで手作り感のある番組だった
- ・放送時間と番組構成に工夫を感じた。ゴルフ初心者にも配慮した丁寧な作りで、楽しさを伝えることができたのでは
- ・ゴルフと対談番組の要素を上手く融合し、地域経済の活性化につながる企画だった
- ・地元経営者たちの話をもう少し深く掘り下げられたらもっと良かった

6. 議事の内容

岩淵事務局長)

今回は、「天津木村のG o ! G o ! G o l f」につきましてご審議いただきます。

本年2月に第1回を放送しました岩手初のトーク&ゴルフ番組「天津木村のG o ! G o ! G o l f」は、岩手県内のゴルフ場を舞台にゲストと天津木村が対決を繰り広げながら、ゲストの仕事やプライベートに迫る内容となっており、今回ご視聴いただきましたのは、川徳の荒道会長とエクナの佐藤会長にご出演いただいた10月18日と25日の2回です。

本日は、プロデューサーを務めた報道制作部担当部長の四戸が出席しております。率直なご感想、忌憚のないご意見を頂戴できればと思っております。よろしくお願ひいたします。

では、小松委員長、議事進行お願ひいたします。

小松委員長)

では、社長挨拶からお願ひいたします。

畠山社長)

テレビ全体のことの中で話しさせていただくと、まさにネットニュースとかに出ていましたけれども、WBCに大谷君が出ると宣言したということで、何度もこの場でお話ししていますが、今回もし出て、それをネットフリックスだけしか見れないとなったときに、日本のテレビという文化を長年やってきた中で、多分本当に初めての本当の地殻変動というか、例えばボクシングの井上君の試合をネット化というのとはもう違う、本当に全国民の関心事が有料放送でしか見れないということが今回初めて起こるのかなという点では、非常に今この決定というのがどういう形になるのかというのがすごく心配でもあり、最終的にどういう形で終わるのかというのが今回のこのニュースで思っているところでございます。

あとは、では通常どおりのご審議をよろしくお願ひします。

小松委員長)

ありがとうございます。

では、事務局から単発番組、視聴率、対応記録についてご報告のほうお願ひします。

岩淵事務局長)

では、まず12月の単発番組と10月の視聴率及び視聴者対応状況についてご説明させていただきます。

12月の単発番組です。資料をご参照くださいませ。ローカルでは、「G o ! G o ! いわて×情報紙ゆうゆうコラボスペシャル」と「バスケットボールB2リーグ 岩手ビッグブルズ×福島ファイヤーボンズ」を生中継でお届けいたします。

ローカル以外では、「フィギュアスケートグランプリファイ

ナル 2025」の各種目、「木下グループスポーツスペシャル 福岡国際マラソン 2025」、「全国高等学校バスケットボール選手権大会 ウインターフラッシュ 2025」の事前特番及び決勝、「Hi t a c h i 3 T o u r s C h a m p i o n s h i p 2025」のゴルフ中継と各競技の熱戦の模様をお届けいたします。単発番組につきましては以上となります。

続きまして、A4 縦、視聴率のほうをご説明させていただきます。まず、緑色の個人全体視聴率からご説明いたします。当月は、プライム、プライム 2 で 1 位、全日が民放 2 位、ゴールデンが 2 位となりました。プライムで 1 位、ゴールデンが 2 位の要因は、サッカー日本代表対ブラジル戦や「ザワつく！金曜日」などが高視聴率を取ったことに加えまして、10 月立ち上げのドラマ「相棒」や「緊急取調室」が好調に推移していることが挙げられます。なお、全日の 2 位は、「羽鳥慎一モーニングショー」や「スーパー J チャンネル」が牽引しております。一方で、土曜午前の「G o ! G o ! いわて 第 2 部」は、先ほど畠山からも触れられましたが、放送 5 回中 3 回が MLB ポストシーズンのドジャース戦と重なっておりまして、3.0%と苦戦を強いられております。

青色の世帯視聴率では、ゴールデン、プライム、プライム 2 で 1 位、全日が民放 2 位となりました。この民放 2 位というのは、ドジャース戦の影響だというふうにご理解いただければと思います。10 月の視聴率については以上となります。

続きまして、10 月の視聴者対応状況、A4 横のエクセル表をご参照ください。電話が 6 件、メールが 18 件の計 24 件の問合せでした。その内訳は、質問が 7 件、意見・苦情が 3 件、その他 14 件になります。内容に関しましては、お配りした資料をご参照いただければと思います。

事務局からの説明は以上となります。

小松委員長) ありがとうございます。

では、ただいまの事務局からのご説明に対しまして、皆さんのはうから何かお聞きになりたいことですかご意見ありましたら、お願いしたいと思います。

そのだ副委員長) 何かテレビ局も熊のカスハラみたいなの来るようになつたのですね。前からですか。

三浦常務) 熊の何ですか。

そのだ副委員長) 熊の何か苦情みたいなの、ここに何か……

小松委員長) メガソーラー。

そのだ副委員長) メガソーラーとか、原因になって。

三浦常務) 熊の意見多いみたいですよね、個人的に。

小松委員長) あれ、娘さん……

そのだ副委員長) いや、娘はまだわななので、熊捕れないです。私が銃持つても散弾銃程度なので、10年後になります、熊は。

小松委員長) 皆さんからありますでしょうか。

私、「緊急取調室」って見たことなくて、ユーネクストか何かで見ていたら、これ面白いねと、そこから地上波に戻ってきたという、そういうパターンはあるのですかね。

三浦常務) あるかもしれないですけれども。

そのだ副委員長) 私もそうです。

三浦常務) 今回何か岩手県内の視聴率はいいです。今までの傾向としては良くなかったのですけれども、「相棒」「緊急取調室」の映画が今回あったので、それと一緒に盛り上げていこうと。たしかファイナルという形なので。

そのだ副委員長) 映画はあるのではありませんか。

三浦常務) 映画、はい、あります。

小松委員長) ほか、皆さんありますでしょうか。

では、合評のほうに移らせていただきます。事務局からもご説明ありましたとおり「天津木村のG o ! G o ! G o 1 f」、10月18日と25日の2回分の放送ということで合評課題になっております。

では、内海さんのはうからよろしくお願ひします。

内海委員) お疲れさまです。ゴルフ番組ということなので、どういう番組なのかなと思って見始めたところでした。見終わった感想としては、すごく伸び伸びとアットホームで手作り感のある番組だなというふうに感じて、視聴した後はほんわかというか、そういう気持ちになりました。

3つぐらい見どころというか、見ていて思ったのが、1つは

ゴルフですよね。もう一つは、天津木村さんと石田アナの掛け合いというところあると思います。もう一つは、経営者が出でてくるところ。この3つの機構が、これをどういうふうに見せていくというか、これをどういうふうに見ればいいのかなと思って、今度は視聴者ではなくて、つくり手のほうから考えたときに、視聴者を引きつけるために工夫とか仕掛けが何かどういうところにあったのかなというのが改めて今回聞きたいなと思っていたところでした。

一つゴルフとしては、ゴルフ番組なので、日本のベスト100コースというコースが出ていたので、個人的にはそれがどういうゴルフコースかだとか、そういう情報をもう少し何か知りたいなとか思ったりしました。セントアンドリュースを模したとかですね、鬼の手のバンカーとか、すごく面白いコースがいっぱいあるので、後で結局自分でネットで調べたのですけれども、これもどういうコースがあつたらいいのかなとかちょっと思ったりしました。

もう一つは、石田アナと天津木村さんのやり取りがすごく面白くて、石田アナがダイヤモンドの指輪を買いましたとか、あと最後のミラクルショットもありましたけれども、すごく面白くて、何が起きるか分からぬ中でこの掛け合いがすごく面白かったなというのはありました。

もう一個、経営者の語りのところで、佐藤さんの話で、私も管理職の仕事をしていて、今総局にいるのですけれども、総局員とか支局員のモチベーションを上げるのにどうすればいいのだろうと思っているときに、この人はすごく積極的に仙台にも何か進出するというお話もされていましたけれども、旅行にみんなを連れていくという、このご時世になかなかすごいことをしているなということを思って、すごく勉強になるというか、ためになる、この先が見えない時代にこういう経営者が岩手にいるのだということはすごく思いました。

そういう意味では、僕が今3つ、ゴルフとやり取りと経営者の語りという意味ではすごく面白い部分がいっぱいあったのですけれども、個人的には何かもつといろんなところを見たいというか、満遍なくというか、面白かったのですけれども、もう少し何か深く突っ込んだところがあるといいのかな思ったりもしました。

例えばゴルフをやっているので、クラブセッティングの話とか出ていたので、それを経営に絡めて話してもらうとか、これちょっとそういうふうにできるかどうか分からぬですけれども、13本しか僕持っていないのですとかいう話とか、ウエッジのお話とかいろいろしていたと思うのですけれども、せっかくゴルフをしているので、ゴルフと経営みたいな話で

何か質問したりすると、こういうセッティングで、経営論でこうなのだみたいな話があるといいのかなとか思つたりもしました。

経営の話の中でためになるということで、もう少し何か深く突っ込んだ、それぞれ未来の百貨店の話とか、そういう話もされていたのですけれども、岩手全体の経済とか、トップの方がいろいろ話ができるのだろうなと思う人なので、もっと深く、ここすごく聞きたいなというふうに思いました。

ただ、これ尺が30分だと、もっと二十何分になってしまふんですかね、それが2回ということなので、その中で収めるのが多分すごく難しいのだろうなと思っていたのですけれども、何かもう少し深掘りというか、したところが1個あると、何か視聴者の的にはもう少し満足できたのかなという感じが見ていて思いました。全体的にすごく面白く見させていただいたのですけれども、何か若干そこの物足りないというか、もっと知りたい感がそれぞれについて、ゴルフ場のコースについてもそうだったし、ゴルフについてもそうだったと、経営論についてももう少し知りたいという感想を持ちました。

天津木村さんと石田アナさんのやり取りはすごく面白かったので、ここは僕は言うことないのですけれども、その強弱が何かもう少しつくといいのかなと思ったのが印象です。

あと、これレギュラー番組みたいな話をしていく、2月の放送を実は見たかったのですけれども、ちょっと探したのですけれども、これ見れなくて、見れる方法があつたら教えてほしいなと思いました。あと、次回またいつやるのかなというのが楽しみなのですけれども、前回が2月だったということなので、どうなのかなというのが思ったところでした。

ちょっとまとまりがないのですけれども、以上です。

小松委員長)

ありがとうございます。

では、小川さん、お願いします。

小川委員)

内海さんからあったように、天津木村さんのゴルフ&トーク番組ということに地元名士の佐藤会長と荒道会長を迎えて、恒例の石田アナさん加えての楽しい番組だったと思います。ただ、その一方で、実は公表するのが難しい種類の番組だなというのが個人的な感想でもあります。ゴルフ&トークが岩手初というのもちょっとびっくりしたというところではあります。

まず、ゴルフをする人間にとては、入りのゴルフセットの解説するとか、クラブのこだわりというのもさもありなんといったところなのですけれども、知らない視聴者にとって

みれば、説明を受けてもどうだったのかなというのはありますけれども、それでもいきなりコーススタートで入るよりは、つくりとしては丁寧なつくりだったなという印象です。

番組を2コースずつ、2部に分けたというのも番組内容の性質上、退屈させるほど長くなくて、またプレーだけではなくてトークタイムも交えることで、全体の構成としてはよかつたのではないのかなというふうに思います。

ちょっと忘れてしましたのですけれども、1回目と2回目で視聴率はどうだったのかなというのをデータは以前お示しいただいたと思うのですが、後でいいと思います。そんな感じです。1回目見たら、さらに2回目見たくなったのかな、それとも下がってしまったのかなという印象でした。

トークタイムのゲストの2人は、内海さんもおっしゃったように、企業経営ですか人材育成に関しては分野は違っても共通するところがあるって、やはり代表取締役としての将来展望が明確であるというところに感心をしましたけれども、逆にあんまりそれが濃いと、ゴルフ&トーク番組なので、重くなり過ぎない、ちょうどいいところなのかなという感じもしました。

プレーのほうにちょっと入りますと、エクナの佐藤会長はやっぱり熟年のプレーヤーの渋さというのが見えていましたけれども、川徳の荒道会長は本来はもっとお上手なのではないかなと思うのですけれども、収録番組ということで緊張されたのかなということで、いつもの調子が出なかつたので、若干お気の毒だったかな、残っちゃいますからね。そういう印象を持ちました。

それで、「G o ! G o ! いわて」のときもそうですけれども、石田アナウンサーと天津木村さんの天然のぼけと突っ込みというのは、今回のゲストとのやり取りも含めて番組全体が和んだ雰囲気になって、お二人はある意味抜群のペアなのかなという印象を受けました。エクストラホールでの石田アナウンサーの奇跡は、この人は持っている人だなというふうに何か思いますよ、普通ないですからね。これ撮り回ししてないのですよね。

それで、最後ですけれども、天津木村さん、そこそこ実はゴルフはお上手なのではないかなという、そういった印象です。

以上です。

小松委員長)

ありがとうございます。

では、つくしさん、お願ひします。

（そのだ副委員長） 私の父の遺言でゴルフだけはやるなと言われておりまして、ただ父はちょっと元岩手県信連なのですけれども、めちゃめちゃゴルフ気違いで、ほとんど家にいなかつたのです。それで、多分私が始めたらどのくらい金飛んでいったかというのが分かるのだろうなと思っています。多分その遺言だったと思うのですけれども。なので、ゴルフは全く分からず、ゴルフのシーンを見ていると、私は何を見せられているのだろうという気持ちにちょっとなったのですね。

ただ、進行する人と天津木村さんと、あと石田アナがいて、それで岩手県で活躍されている各経営者の方という人選がすごく面白かったのと、あと時々に見せる経営論みたいな、岩手で活躍されている大きい企業の社長の気持ちとか、経営のお話とか、なかなか聞くことができないコーナーを設けていただいたのがすごく参考になりました。ただ、ちょっとめり張りが弱いなというのはあったのです。

ただ、このシリーズは、ゴルフのシーンは私は分からないのですけれども、みんなこれ本気出していないのではないかという感じで、絶対遊んでいるのだろうなという、楽しそうなおじ様たちの楽しそうな遊びを見たような気持ちで、すみません、本当にゴルフ素人で。だけれども、実はもっとみんなうまいのではないかというところがありまして、私は一番は人選がすごくよかったです。

あとは、個人的には予告の引き寄せ力がすごくあったなど、次の予告が面白かったので、次見る気になりました。これ本当にシリーズだったら、県で企業をされている方の社長とかトップの人たちをいつも遊ばせるような、何かコーディネーターは木村さんになっているのだけれども、全部石田アナが持っていくみたいな、そういうパターン化しても面白いのかなと思っております。

これすごく貴重な企画かなと、よく考えると思うのです。なので、経営者がみんなゴルフをしているかというと分からぬし、私は経営者ではないので、個人経営なので、さっぱり何か社員にどうしたらいいか分からぬですけれども、だけれどもすごく考え方とか目標とかいろいろな格言とかが出てくるのは面白い番組なのではないかなと思って、これちょっともう一いじりすれば、化けそうな気がします。

あと、せっかくなので、本格的に男性アナとかの実況とも入れて、ガチのゴルフ番組っぽくアレンジしても面白いのかなという、あえてそういうガチの設定なのだけれども、みんな何か遊んでいるみたいな感じのちょっとギャップがあつても面白いのかなというつくり方だったなと思いました。

以上です。

- 小松委員長) ありがとうございます。
では、惣兵衛さん、お願ひします。
- 高橋委員) 私は、夫に買ってもらったゴルフセットを 1 回しか使っていないので、これを機にそのださんと一緒に……
- そのだ副委員長) ちょっと待って。
- 高橋委員) ゴルフをして……
- そのだ副委員長) でも、セットはあります、うち。
- 高橋委員) 小松さんに連れて行ってもらおうと思っています。
- そのだ副委員長) 思っています。
- 高橋委員) 思っています。
いずれは、この番組にも出てみたいと思いました。
- そのだ副委員長) お願ひします。
- 高橋委員) 今日これ見て、私、すごい、この番組つくった人すごいなと思って、四戸さんですか。すごいと思いました。ちょっと電話かかってくるあれあるじゃないですか、ちょっとあれになつた芸能人と対談しませんかという、お金払つて、そういうほうに出ませんかという、あれだと思った、私は。
だけれども、これ 30 分、エクナと川徳の社長さん、スポンサーについてもらって対談しましようかとやつたって、全然面白くないじゃないですか。でも、ゴルフにしたことによつて、めちゃめちゃ面白くなつたって、これ考えた人すばらしいと思いました。
- みんな何かうまいこと言つてゐるんですよ、本間ゴルフさんは、自分の推したいクラブなんかを天津さんがすごいですね、すごいですねとやって、格好の宣伝材料になつて、しかも買ってもらつてましたよね。これは、本間ゴルフさんオ一ケーでしょう。あと、エクナさんと川徳さんなのですけれども、私、この人どこかで見たことあると思ったら、思い出したのです。私、岩手へ来て初めて就職した会社、エクナという会社だったなと思って、それでこの佐藤さんは営業部長か何かだったなと思い出しました。
- この人、私が入つたときの社長さんお亡くなりになつて、

この方がちょっとうまくなさっていると思うのですけれども、経営も立て直したのだと思います。それが福利厚生のこと見て分かりました。この番組、独り勝ちだったのはこの人です。だって、川徳の人を俺の弟子だみたいにして、弟子だ、もうあれだ、下手くそだからなみたいにして、この人一番おいしいじゃないですか。

そして、人材確保という面で、こんな企業ですよと、新しい人材を確保する上での格好の宣伝材料だから、私、この人は絶対これ 100 枚ぐらいDVDに焼いて、まいていると思います。私だったらやるもの、私だったらやるもの。これで全て入っているのですよ、エクナの佐藤さん持ち上げる内容が全部入っているから、この人の費用対効果はすごいな、いや、いいなと思います。このポジション狙いたいです、私は。そう思いました。

だけれども、忘れてはいけない、ちゃんと石田アナと天津さんのアシスト力ですよ。これぞいわゆる接待ゴルフなのだと。これが接待ゴルフです。お出かけちょうどおめかしして行くところなのですよと。「ハレ感」。デパート行って、ちょっとその辺の安いところではないのです、おめかしして行くところなのですよと言って出した、もう絶妙、14 万のダイヤの指輪買ったと言っていましたね。これが絶妙なのですよ。これね、28 万とかだったら、ちょっと好感度下がっています。

そのだ副委員長) そうですね。

高橋委員) 嫉妬をされずに、ちょっと高級という 14 万、この石田さん天才かと思いましたね。

さらに、ハンドクリームのネタ、天津さんも上げているし、川徳のブランド力を上げる相当な手だれだと思いますね、この 2 人は。うーん、この番組つくった人誰だと思ったら、四戸さんでした。すばらしいです。

ということで、さらに忘れてはいけないです。ゴルフって楽しそうだなというふうに思ってもらったという効果もあると思うのです。実際そのださんだって、ゴルフしようかなとなっていましたもの。県内のゴルフ場の、各種あると思うのです、その一つがうちの夫が雇われ支配人をやっている盛岡南ゴルフ俱楽部というところがあって、そういったゴルフ場のニーズを喚起するといった面におかれましても、すばらしい番組であったなと私は思いました。ありがとうございます。皆さん、お願いします。

小松委員長) 石川さん、お願いします。

石川委員) 今回の合評課題番組は、2月にスタートした不定期のゴルフ&トーク番組ということで、位置づけはタイトルからすると「G o ! G o ! いわて」の спинオフ番組ということなのでしょうか。今回のゲストは、お二方とも私どものお取引先で、お二人とも私も一緒にゴルフしたことのあるよく存じ上げている方であります。特に川徳の荒道会長はうちの銀行の仙台で、放送の大分前から、ご本人からではなくて周りから、荒道会長が I A T のゴルフ番組に出るらしいと結構な評判になっていましたので、しっかり録画して、とても楽しく視聴させていただきました。

なお、他局で恐縮なのですけれども、某テレビ東京でゴルフを愛する財界人や著名人が親交の深い方とゴルフをしながらお互いの人生観や仕事について語り合う「ゴルフ交遊抄」という番組がありまして、個人的に気に入って以前からずっと見ているのですが、今回の合評課題の「天津木村のG o ! G o ! G o l f」は、「ゴルフ交遊抄」のテイストもありつつ、気を張らないバラエティー感もあるとても楽しい番組に仕上がっていたと思います。

特に今回は、県内の経営者の方をゲストに迎えての制作であり、地域に根差した企業がどのような事業を展開しているのかを広く知らしめる機会となるなど、地域経済の活性化にもつながる企画だと思います。

ゴルフ番組としても、ホールレイアウトの紹介にドローン映像を使っているところや各プレーヤーのショットと打球を捉えた映像など、ゴルフ場ならではのプレーを効果的に伝えていましたし、ゲストのクラブセッティングの紹介までするところは本格的なガチのゴルフ番組のようで、そこは逆に受け狙いだったのかなというふうに思いました。

また、番組タイトルもとても凝っていて、これはやはりシリーズ化しないともったいないなと思いました。

10月18日放送分は、ゲスト2人のテレビ収録ということに全く物おじしないコメント力に感心しましたし、相変わらず石田アナは石田ワールド全開で、何をしゃべっても面白かったです。

次週予告映像で石田アナのショットのシーンで終わったのは、視聴者を次週の放送に引っ張る上で効果的でした。

あと、10月25日放送分は、私も以前荒道会長から直接指導いただいたことがある股関節理論を紹介していました。まさか大谷翔平まで持ち出してくるとは思いませんでした。理論はさらに進化していく、と。

また、最終ホールで番組存続をかけたパットを外してしまった天津木村さんが19番ホールでしっかりとニアピンを決めて、番組の存続を決めるあたりはさすがだなというふうに感心しました。

今回の合評課題番組である「天津木村のG o ! G o ! G o l f」は、ゴルフというスポーツの特性を生かしつつ、トータル番組とバラエティー番組のよさを融合させたとても楽しい番組に仕上がっていたと思います。ぜひこれからも県内の企業経営者のみならず、地域に根差して頑張っている方をゲストに迎えて、定期的に放送していただくことを期待しています。

ただ、1点だけ、いろいろご都合あると思いますが、放送時間の設定が少し早過ぎるのかなというふうに思いました。

以上です。

小松委員長)

ありがとうございます。

今回も皆さんからの貴重なご意見いただきました。ありがとうございます。

鈴木事務局員)

松澤委員からレポートが届いていますので、いいですか。

小松委員長)

はい。

鈴木事務局員)

ちょっと読み上げさせていただいてもよろしいでしょうか。

小松委員長)

はい。

鈴木事務局員)

番組につきまして、①番組が伝えたかったこと。岩手で働く・挑む・続けることへの価値。エクナもカワトクも共通したのは、「人を大切にする文化」でした。カワトクの「おめかしして行ける場所がある意味」、アネックス閉店を「挑戦」と語る姿勢。青森・秋田・岩手を一つの商圏と捉える未来志向。これらは、単なる企業PRではなく、岩手で生きる働き方や地域に根差した企業の矜持を語る場となっていた。

②ゴルフは、「世代と立場を越えてつながる」という一つの文化。番組の最後で語られたコメントは、2回の放送を象徴する言葉。「世代を超えて楽しめる」「ギフトがある」。ゴルフが持つ余白・距離感・待つ時間を生かして、人の本音が浮かび上がっていた。番組は、岩手でゴルフをすること=岩手で人がつながることと描いていたのか。

③「移住者である木村さん」のまなざしの使い方がうまい。木村さん・石田アナ・地元経営者という組合せは、外の視点

と地元の視点が自然に混じり合うバランスを保っていた。「岩手大好き。岩手の人が働く場所づくりに期待大」という木村さんのまとめコメントは、もはや「移住者」というより地域のエールを送る当事者の言葉に聞こえた。

続きまして、番組審議委員としての総合意見。今回の番組を審議対象としたのは、タイトルにある「ゴルフ番組」の枠を超えて、岩手で挑戦する企業と人をつなぐ番組として高い完成度があったからです。

制作側は、コース上のボールではなく「人間そのもの」にカメラを向け、そこから岩手の企業文化や価値観を浮かび上がらせました。

佐藤社長が語った「市場を大きくして 100 億へ」という未来、カワトクの「おめかしして行ける場所の意味」、社員を思い、選べる社員旅行、地場企業が東北三県を一つの商圈と見据える姿勢など、岩手の企業の本音と挑戦がしっかりと伝わってきました。

また、ゴルフが世代・立場をこえて「人をつなぐ文化」であるという柔らかいメッセージは、この地域において新しい価値を提示していたと思います。木村さんの穏やかな存在感も相まって、岩手で働き、暮らし、挑戦する人々を前向きに照らす番組として評価したい。

こうしたアプローチは、地方局の番組制作における新しい可能性を示すものだと感じました。

以上です。

小松委員長)

ありがとうございます。

では、私のほうからコメントをさせていただきたいと思います。「天津木村のG o ! G o ! G o l f」ということで、結論から申し上げますと、非常に楽しく 2 番組とも見させていただきました。

この番組を制作する意図を考えると恐らく……恐らくというか、視聴率をどう取るかということを考えると、今週の視聴率を見ると大体「G o ! G o ! いわて」の 1 部が 4% なので、その前の時間帯なので、恐らく 4% 取れれば万々歳、ワンチャン 4.5% 行けば、もう大成功みたいな、多分その辺なのではないかなというふうに思っています。

私、非常に感心したのが、これまたまかもしれないすけれども、さっき石川さんからもあったのですけれども、この時間帯なのですよね、土曜日の朝 6 時半から 7 時なのです。しかも、2 月の次はなぜか 10 月の後半で、2 月はここに住んでいる人は大体ゴルフ行かないのです。行けないからこそ、こういうのを見たいという、そういう欲求があると思うので

す。しかも6時半なので、例えば10月に見た方は、だんだんもう寒くなると私みたいにやらない人だんだん増えてきて、行かないけれども、ゴルフ感体験したいという人の掘り起こしを狙ったとしたら、すごい時間帯に持ってきたなと思って、6時半はゴルフやる人は大体もう無駄に5時とかに起きてしまって、ちょっと土曜日の気だるい時間帯にポチッとやると、あつ、何か面白そうなのやっているなみたいな、そこまでもし意図的に考えているのであれば、これ非常にすばらしい戦略だなというふうにまず思いました。

もっと言うと、ゴルフ番組でありながら、バラエティっぽくやっているのですけれども、やっぱりゴルフに全く興味ない人というのは多分見ないと思うのです。なので、少しでもゴルフに興味がある人にフォーカスして、もうそれに興味ない人はバサッと、ちょっと表現悪いですけれども、カットして、興味ある人にフォーカスしたというところの戦略性も非常によかったです。

皆さんお話をあったとおり、石田アナウンサーのアネックスカワトクの閉店セールで、何か14万何がしのダイヤを買いましたというところと、天津さんの驚きっぷりがすごく面白かったというのと、あと天津さんが必死にベルトのバックルを説明しているのに、それに何の反応もしていない石田さんというのも、あそこは最高に私個人的に面白かったです。

あと、番組の流れとして、プレーヤーの紹介と、あとプレーして、あと会社の紹介、あとはエンディングという形で非常にまとまりもあったと思いますし、あとプレーヤーのゲストの方も、これではもう片手シングルでめちゃめちゃうまかったら、多分何だよと思うと思うのです。でも、ほどほどのうまさというか、そんなにうまくないところがすごく見ている人にとって安心感というか、何か一体感を持てるというか、その辺の人選も考慮に入れられたかどうか分からないですけれども、その辺も非常によかったです。

ちょっと余談ですけれども、私、先月八幡平でやったときに後ろの組が荒道さんと、あとクレジット系の方が1組あって、そのときグリーンがめちゃめちゃ難しくて、荒道さんに「いや、何か今日のグリーン難しいですね」と言ったら、「うわあ、もう今日も全然、もう3パットだけだよ」みたいな、そんな、でも何か見た目うまそうだったのですよね。でも、見たら、何か私とそんなに変わらないなと思って、変に安心してしまいました。

なので、非常に嫌みのあるうまさの人たちではなかつたので、アマチュア的には非常に見やすいというか、すごく見ていてある意味安心感がある番組だったなというふうに思って

おります。

さて、10月の後半に2回連続でやった番組を今後、次いつやるかというのが個人的には非常に興味があるところなので、岩手県のゴルファーからすると、大体もうそろそろ（ゴルフ場が）クローズになって、もう3月の後半ぐらいまでしかオープンしないので、ぜひその間に何らかの感じで見れると非常に楽しめるのではないかというふうに思っております。

私からは以上でございます。

そのだ副委員長) 冬は、ゴルフしない経営者の育成番組とかつくればいいのではないかですか、私のような。

さゆりさん。

高橋委員) んつ。

そのだ副委員長) ゴルフしない人の育成コーナーをつくる、経営者の。

高橋委員) 小松さんに。

そのだ副委員長) 小松さんに。

小松委員長) いやいや。

そのだ副委員長) 練習場の番組つくれと。

高橋委員) 小松製菓のせんべい作りとかやりたい。チョコ南部作り。

小松委員長) それはまた別途、はい。

すみません、私、もう一個ちょっと忘れたのですけれども、今回メイプルカントリークラブだったじゃないですか。なのに、スポンサーの提供が盛岡カントリークラブだったのです。これは、次は岩山でやるという布石なのかと思っていて、その辺もちょっとお聞きしたいところです。四戸さん、お願いします。

四戸プロデューサー) 僕からで。いろいろご意見賜りまして、ありがとうございました。

そもそもといいますか、このゴルフ番組に関しては、おととしさですか、木村さんが最後の蘇民祭に出られた際に、角灯という願いを書くものがありましたので、あれに「ゴルフ番組やりたい」と書いていただきまして、番組で。それもあって、僕らとしても、では願をかけてというか、それがかなう

のが蘇民祭だという話もあったので、何とかかなえたいなどという思いもあって、社内にもゴルフ好きの社員もおりますし、もちろん畠山社長もいらっしゃるというところでご相談して、ぜひやらせてほしいということで、社員のほうからも声が上がって、社長のほうからも、そういう番組はぜひやったほうがいいのではないかという話がちょうどタイミングが合ってといいますか、それで去年準備をして進めていた番組でございます。

ただ、出演される方がすごく難しいというか、今おっしゃっていただいたみたいに、やっぱり 3 パットとかしてしまうと恥ずかしいな、とか。カメラの前でふだんやることってないと思いますし、収録上、本当は 9 ホール回って、18 ホール回っていいところを見せられればいいのですけれども、やっぱり時間もあるので、今回もコースぎゅっと 4 ホールだけとかとなってしまうと、なかなか調子も出ないとか、そういうところが映ってしまうというところで、やっぱりちょっと皆様、岩手の県民性もあるのかもなのですけれども、積極的に出たいという方のちょっと調整……お二人今回ゲスト招いていますけれども、前回 2 月もお二人やったのですけれども、関係値とかもあったりとかですね。

ところが、ちょっとやっぱり始めてみて、やってみて、でもちょっと苦労するポイントだなというのは、やっていて思ったところです。その辺りも今ご意見いただいたように、木村さん、石田のほうで雰囲気よくというのはできたのかなと思いますし、ゴルフのプレーに関しては畠山社長からアドバイスいただきまして、もうちょっとこういうところを見せるようにとか、ちょっとクラブセッティングはもう少し見させないとなどかあったのですけれども、もう少しゴルフに寄せた形でとかできるようにとかというのはアドバイスいただきながら、2 回目の放送を迎えたという形でした。

多分見る方のレベルといいますか、嗜好といいますか、によってちょっと評価がすごく分かれる番組だったなというのを僕も思っています。

ただ、経営者の方々の GO ! GO ! いわての「どっかええトコありますか？」のコーナーもそうなのですけれども、トップの方あるいは首長さんですけれども、がどういう人となりで考え持っていて、ふだんどんな表情なのか、なかなか見ることがないところを映せているといいますか、それを描けているという意味ではすごくゴルフやらない方にとっても価値あったのかなと思いますし、小松委員長におっしゃっていただいたように、ゴルフ好きな方しか恐らく見ないのかなと思っていたので、ゴルフやる方にとっては有意義な番組で

きたらなというところで、2回といいますか、今回つくらせてもらいました。

もう少し深くといいますか、ご意見いただいていたのすけれども、もう少し工夫してプレーの部分だとか、お話の部分だとか、もうちょっと深掘りできるとよりよくなるフォーマットになってきたのかなという思いも私も少しあるので、これをちょっと活かしながら、レギュラー番組といいながら2回しかできていないので、来春以降また継続的にできればなと思っておりますし、そのためにもしゴルフやられる方いたら、ご紹介いただけだと大変助かりますといいますか、教えていただければなと思います。

ちょっと出た中で言うと、2月のオンエア見られるのと内海さんのほうからあったのですけれども、出られた当時の1回目の放送のときの方がやっぱりスコアがよろしくなくて、ちょっとウェブとかに載っけないでほしいとか、再放送をちょっとやめてほしいからという意見を頂いたりしてですね、やっぱりあるんですよね。そうなってしまう番組だなというのももちろんあるので、やっぱりちょっとあんまりそういうのは見られたくないじゃないですか、ちょっと自分が下手だなと思われたり、ちょっとそれに関しては再放送とかもせず、ウェブにも載せていない状態でやらせてもらっていました。

あと、もちろん放送時間狙って放送したというわけではないのですけれども、たまたまですけれども、そういうニーズのある時間帯に流すことで多くの人に見てもらいたいというのはそのとおりですので、その辺は今後も工夫していきたいなというふうに思っております。

冬、クローズするところが岩手は多いですで、次は早くて3月収録できるかなという感じです。シミュレーションゴルフみたいなところも結構できたりもしていますけれども、いろんなやり方があると思うので、いろんな方がいると思うので、米澤蓮君みたいなトッププロもいますし、岩手出身の。そういうところにもつながるような番組が今後できたらなと思っています。

盛岡カントリーに関しては、(IAT営業部の)津志田さんがいるからということなのですか。営業のほうで番組をいろいろ準備する中でオーケーをいただいたというところです。

私からは以上です。ありがとうございました。

小松委員長)

ありがとうございます。

皆さんから何か言い忘れたこととか、お聞きになりたいことございませんでしようか。

そのだ副委員長) やっぱり経営者はゴルフをするのですね。そうか、やっぱりよく分かりました。

小松委員長) よろしいですか。

では、事務局のほうから次回日程、合評テーマのご報告のほうをお願いします。

岩淵事務局長) それでは、次回についてのご案内でございます。

12月は休会とさせていただきます。次回は、年明け1月28日水曜日午前11時から当会議室で開催いたします。合評課題につきましては、追ってお知らせ申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、本日はありがとうございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して措置

ご指摘頂いた点を、今後の番組作りの参考とすることとした。

議事録を総務大臣、東北総合通信局長、日本民間放送連盟、BPO 及びテレビ朝日をはじめとする系列各局に配信する。

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

- ・12月13日（土）午前7時30分～10時55分 情報番組「Go！Go！いわて」
- ・本社受付に議事録を常備、閲覧に供す。
- ・インターネットホームページに概略を掲載。

9. その他の参考事項

特になし

10. 配布資料

- ・12月単発番組編成予定表
- ・10月度岩手地区視聴率
- ・10月視聴者対応記録